

税金の無駄遣い

今、図書館の本を返さないことが問題となっているのを知っていますか。足立区のとある図書館では、約一万七千冊の本が十年ほど返却されず、お金にしてなんと二千五百万円もの被害が出たようです。図書館の本はすべてが税金で購入されていて、未返却の本を返却してもらうように利用者の家を一軒一軒回ったり、それでも返却されなかった本を新しく購入するのもすべて税金なのです。つまり、本を返却しないというのは、税金の無駄遣いにつながっているのです。

私はこのことを調べたことがきっかけで、他にも私たちは知らず知らずに税金の無駄遣いをしていますのではないかと考え、「税の無駄遣い」について、詳しく調べてみることにしました。

まず、税金で賄われているもので私たちの身近なものといえば、学校関連のものです。私たちが毎日使っている教科書やタブレットなどもすべて税金です。教科書が税金で賄われていることは知っていました。タブレットなどの高価なものが税金だという実感がなく、私も今まで何も考えずに「壊れてしまったら新しいものに替えれば良い」と思っていました。ですが、壊れてしまった時に新しくタブレットを購入するのも税金で、修理費も税金から出ています。他にも学校関連のもので例をあげると、水道や石けんなどもすべて税金です。また、タブレットや石けんのように目に見えるものだけでなく、私たちの目には見えないものも税金によって支えられているのです。例えば、最近では給食費を無償化する地域も増えていますが、それも税金が使われているのです。私たちが「自分たちでお金を払っているわけではないから、少しくらい無駄遣いしても大丈夫だ」と考えてしまうと、巨額の税金が無駄になってしまうこともあるのです。つまり、税金が無駄になるかならないかは、私たちの考え次第なのです。

税金とは本来、私たちが暮らしやすい環境を作るためにあるものです。ですがその税金は、私たちの「税金を使っている」という意識次第で「無駄」にもなってしまいます。こんなことを言っている私も今まで「税金を使っている」という自覚がなかったもので、つい学校の水道を無駄に使ったりしてしまいがちでした。ですが、税金は本来私たちのためにあること、そして税金は私たちの意識次第で無駄にもなってしまうことを踏まえて、これからは気をつけて生活していきましょうと思います。